

高校生ものづくりコンテスト県大会



真剣な表情で課題に取り組む生徒

秋田工勢、木工、化学ともV

高校生ものづくりコンテスト 小松さんは8月4、5日にトの木材加工、化学分析両部 岩手県で行われる木材加工部門の県大会が26日、秋田市保門の東北大会に出場する。化戸野の秋田工業高校で開かれ、学分析部門の東北大会は来月29、30日に秋田市で行われ、木材加工部門は秋田工業、高建築科3年の小松翠さん、千葉さんのほか、地元開催枠(18)、化学分析部門では、秋として準優勝の秋田工業、田工業化学科3年の千葉瑚都さん(17)がそれぞれ優勝した。

木材加工部門には県内4校

の8人が出場した。3時間で5本の角材を加工し組み立てる課題に挑戦。木材に墨付けをして目印を施し、ノコギリやノミで丁寧に仕上げていった。

小松さんは「練習通り、落ち着いて挑むことができた。まだまだ改善点があるので東北大会までに苦手なところを克服したい」と語った。

化学分析部門には県内2校の6人が出場した。2時間半の制限時間内で、水に含まれるマグネシウムとカルシウムの量から水の硬度を計測。その正確さとスピード、作業態度を競った。

優勝した千葉さんは「緊張したが、最大限の力を出せたので悔いはない。東北大会では自分の欠点を直し、上位を目指して頑張りたい」と話した。

ものづくりコンテストの県大会は、生徒の技術やものづくりへの関心を高めようと県高校教育研究会工業部会が主催し毎年開かれている。

(吉田優花)